

「ニューマチックケーソン工法積算資料 令和6年4月」正誤表

内容に誤りがありましたので謹んで訂正いたします。

頁	行・図番号	誤	正
P20	表5.2、5.3 (注) 12	稼働率は「国基」より、 $\alpha = 1.40$ を標準とする（歴日数（供用日数）＝実日数 $\times \alpha$ ）。	稼働率は、 $\alpha = 1.50$ を標準とする（歴日数（供用日数）＝実日数 $\times \alpha$ ）。
P21	表5.4、5.5 (注) 12	稼働率は「国基」より、 $\alpha = 1.40$ を標準とする（歴日数（供用日数）＝実日数 $\times \alpha$ ）。	稼働率は、 $\alpha = 1.50$ を標準とする（歴日数（供用日数）＝実日数 $\times \alpha$ ）。

表 5.2 1リフトの標準構築実日数（早強コン使用の場合） 「国基（40～300㎡）」 「協会（300～6600㎡）」

（単位：日）

基準		「国基」		「協会」													
工種	単位	40㎡以上	300㎡以上	400㎡以上	500㎡以上	600㎡以上	700㎡以上	800㎡以上	900㎡以上	1200㎡以上	1500㎡以上	1800㎡以上	2400㎡以上	3000㎡以上	4200㎡以上	5400㎡以上	
		300㎡未満	400㎡未満	500㎡未満	600㎡未満	700㎡未満	800㎡未満	900㎡未満	1200㎡未満	1500㎡未満	1800㎡未満	2400㎡未満	3000㎡未満	4200㎡未満	5400㎡未満	6600㎡未満	
標準マテリアルロック基数	基	1	2	2	2	3	3	3	4	5	6	7～8	9～10	11～14	15～18	19～22	
足場組立	日	1	1	1.5	1.5	2	2	3	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	
鉄筋組立	〃	2	4.5	5.5	6.5	8	9	10	11	11.5	12	12.5	13	13.5	14	14.5	
型枠組立	〃	2	3	4	5	6	7	8	9	9.5	10	10.5	11	11.5	12	12.5	
コンクリート打設	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	4	
養生	〃	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
型枠・足場・解体	〃	1	1.5	1.5	1.5	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	
艀装工	〃	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)+1	(2)+1	(2)+2	(2)+2	(2)+3	(2)+3	(2)+4	
実日数	併行作業可能日数	〃	7.0	11.0	13.5	15.5	18.5	21.0	24.5	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0
	併行作業不可能日数	〃	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	6.0	7.0	8.0	10.0	11.0
	計	〃	10.0	14.0	16.5	18.5	22.5	25.0	28.5	31.0	34.0	36.0	39.0	42.0	45.0	49.0	52.0
第1リフトの追加日数	〃	6.0	10.0	12.5	14.5	18.5	21.0	24.5	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0	

表 5.3 1リフトの標準構築実日数〔ポンプ場割増1.2有り〕（早強コン使用の場合） 「協会（40～6600㎡）」

（単位：日）

基準		「協会」															
工種	単位	40㎡以上	300㎡以上	400㎡以上	500㎡以上	600㎡以上	700㎡以上	800㎡以上	900㎡以上	1200㎡以上	1500㎡以上	1800㎡以上	2400㎡以上	3000㎡以上	4200㎡以上	5400㎡以上	
		300㎡未満	400㎡未満	500㎡未満	600㎡未満	700㎡未満	800㎡未満	900㎡未満	1200㎡未満	1500㎡未満	1800㎡未満	2400㎡未満	3000㎡未満	4200㎡未満	5400㎡未満	6600㎡未満	
標準マテリアルロック基数	基	1	2	2	2	3	3	3	4	5	6	7～8	9～10	11～14	15～18	19～22	
足場組立	日	1.5	1.5	2	2	2.5	2.5	4	4	4.5	5	5.5	6	7	7.5	8	
鉄筋組立	〃	2.5	5.5	7	8	10	11	12	13.5	14	14.5	15	16	16.5	17	17.5	
型枠組立	〃	2.5	4	5	6	7.5	8.5	10	11	11.5	12	13	13.5	14	14.5	15	
コンクリート打設	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	4	
養生	〃	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
型枠・足場・解体	〃	1.5	2	2	2	3	4	4.5	5	5.5	6	7	7.5	8	8.5	9	
艀装工	〃	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)+1	(2)+1	(2)+2	(2)+2	(2)+3	(2)+3	(2)+4	
実日数	併行作業可能日数	〃	9.0	14.0	17.0	19.0	23.0	26.0	30.5	33.5	35.5	37.5	40.5	43.0	45.5	47.5	49.5
	併行作業不可能日数	〃	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	6.0	7.0	8.0	10.0	11.0
	計	〃	12.0	17.0	20.0	22.0	27.0	30.0	34.5	37.5	40.5	42.5	46.5	50.0	53.5	57.5	60.5
第1リフトの追加日数	〃	6.0	10.0	12.5	14.5	18.5	21.0	24.5	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0	

(注) 1. 表 5.2 は橋梁基礎等の一般構造物, 表 5.3 はポンプ場のように梁・柱・中壁・スラブを複雑に築造する場合に適用し, 使用するコンクリートは「早強コンクリート」とする。

2. 1リフト4.0m (3.0m～5.0m) 程度を標準とする。

3. 早強コンクリートの養生日数は3日とする。

4. 艀装工は養生期間中に開始できるものとし, 早強コン使用では養生1日後に開始する。そのため艀装工の()内日数は養生中作業となる。

掘削工と構築工の併行作業を導入する場合の併行作業不可能日数は「コン打設+養生+艀装」の日数を考慮する。養生期間中に艀装の一部を開始することから, 養生として考慮するクリティカル日数としては, 早強コン使用の場合は1日とする。

5. なお, 最小限確保する養生日数としては, 供用日で3日以上とする。

6. ケーソン面積2400㎡以上は, コンクリート打設準備として1日を考慮し, 1日(打設準備)+1日(打設)=2日を標準とする。

7. ケーソン面積4200㎡以上は, 1リフト当りのコンクリート量が多くなるため分割打設を考慮し, 1日(打設準備)+1日(1回目打設)+「1日(段取替え)+1日(2回目打設)」=4日を標準とする。

ケーソン面積4200㎡未満でも, 現場条件により1日の打設量に制約があり, 各リフトを分割打設する必要がある場合は, 分割数に応じて「段取替え(1日)+打設日数(1日)=2日」を追加する

(参考: 4分割打設の場合=2日×(4-1)=6日を標準日数に追加する)。

8. 第1リフト(刃口・作業室スラブ)の構築日数は, 据付地盤拵・刃口金物・セントル等の日数を考慮し, 「第1リフト総構築日数」=「第1リフトの追加日数」+「標準構築日数」とする。

9.* 第1リフト追加日数=標準構築日数(割増なし 表 5.3)の「足場組立+鉄筋組立+型枠組立+型枠・足場解体日数」の合計

10. 刃口内側斜板鋼板・作業室スラブ鋼板を施工する場合は, 設置日数を別途考慮する。

11. 躯体構造物のコンクリートm³当りの鉄筋量が非常に多い場合は, 鉄筋組立日数の追加を別途考慮する。

12. 稼働率は, $\alpha = 1.50$ を標準とする(暦日数(供用日数)=実日数× α)。

13. 標準的な施工ヤードが確保できない場合は, 構築日数の追加を別途考慮する。

表 5.4 1リフトの標準構築日数（普通(又は高炉)コン使用の場合) 「国基(40~300㎡)」 「協会(300~6600㎡)」

(単位:日)

基準		「国基」	「協会」														
工種	単位	40㎡以上 300㎡未満	300㎡以上 400㎡未満	400㎡以上 500㎡未満	500㎡以上 600㎡未満	600㎡以上 700㎡未満	700㎡以上 800㎡未満	800㎡以上 900㎡未満	900㎡以上 1200㎡未満	1200㎡以上 1500㎡未満	1500㎡以上 1800㎡未満	1800㎡以上 2400㎡未満	2400㎡以上 3000㎡未満	3000㎡以上 4200㎡未満	4200㎡以上 5400㎡未満	5400㎡以上 6600㎡未満	
		標準マテリアルロック基数	基	1	2	2	2	3	3	3	4	5	6	7~8	9~10	11~14	15~18
足場組立	日	1	1	1.5	1.5	2	2	3	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	
鉄筋組立	〃	2	4.5	5.5	6.5	8	9	10	11	11.5	12	12.5	13	13.5	14	14.5	
型枠組立	〃	2	3	4	5	6	7	8	9	9.5	10	10.5	11	11.5	12	12.5	
コンクリート打設	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	4	
養生	〃	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
型枠・足場・解体	〃	1	1.5	1.5	1.5	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	
艀装工	〃	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)+1	(2)+1	(2)+2	(2)+2	(2)+3	(2)+3	(2)+4	
実日数	併行作業可能日数	〃	7.0	11.0	13.5	15.5	18.5	21.0	24.5	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0
	併行作業不可能日数	〃	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	13.0
	計	〃	12.0	16.0	18.5	20.5	24.5	27.0	30.5	33.0	36.0	38.0	41.0	44.0	47.0	51.0	54.0
第1リフトの追加日数		〃	6.0	10.0	12.5	14.5	18.5	21.0	24.5	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0

表 5.5 1リフトの標準構築日数 [ポンプ場割増1.2有り] (普通(又は高炉)コン使用の場合) 「協会(40~6600㎡)」

(単位:日)

基準		「協会」															
工種	単位	40㎡以上 300㎡未満	300㎡以上 400㎡未満	400㎡以上 500㎡未満	500㎡以上 600㎡未満	600㎡以上 700㎡未満	700㎡以上 800㎡未満	800㎡以上 900㎡未満	900㎡以上 1200㎡未満	1200㎡以上 1500㎡未満	1500㎡以上 1800㎡未満	1800㎡以上 2400㎡未満	2400㎡以上 3000㎡未満	3000㎡以上 4200㎡未満	4200㎡以上 5400㎡未満	5400㎡以上 6600㎡未満	
		標準マテリアルロック基数	基	1	2	2	2	3	3	3	4	5	6	7~8	9~10	11~14	15~18
足場組立×1.2	日	1.5	1.5	2	2	2.5	2.5	4	4	4.5	5	5.5	6	7	7.5	8	
鉄筋組立×1.2	〃	2.5	5.5	7	8	10	11	12	13.5	14	14.5	15	16	16.5	17	17.5	
型枠組立×1.2	〃	2.5	4	5	6	7.5	8.5	10	11	11.5	12	13	13.5	14	14.5	15	
コンクリート打設	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	4	
養生	〃	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
型枠・足場・解体×1.2	〃	1.5	2	2	2	3	4	4.5	5	5.5	6	7	7.5	8	8.5	9	
艀装工	〃	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)+1	(2)+1	(2)+2	(2)+2	(2)+3	(2)+3	(2)+4	
実日数	併行作業可能日数	〃	9.0	14.0	17.0	19.0	23.0	26.0	30.5	33.5	35.5	37.5	40.5	43.0	45.5	47.5	49.5
	併行作業不可能日数	〃	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	13.0
	計	〃	14.0	19.0	22.0	24.0	29.0	32.0	36.5	39.5	42.5	44.5	48.5	52.0	55.5	59.5	62.5
第1リフトの追加日数		〃	6.0	10.0	12.5	14.5	18.5	21.0	24.5	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.0	41.0

- (注) 1. 表 5.4 は橋梁基礎等の一般構造物, 表 5.5 はポンプ場のように梁・柱・中壁・スラブを複雑に築造する場合に適用し, 使用するコンクリートは「普通コンクリート, 又は高炉コンクリート」とする。
 2. 1リフト4.0m (3.0m~5.0m) 程度を標準とする。
 3. 普通または高炉コンクリートの養生日数は5日とする。
 4. 艀装工は養生期間中に開始できるものとし, 普通(高炉)コン使用では養生3日後に開始する。そのため艀装工の()内日数は養生中作業となる。
 掘削工と構築工の併行作業を導入する場合の併行作業不可能日数は「コン打設+養生+艀装」の日数を考慮する。養生期間中に艀装の一部を開始することから, 養生として考慮するクリティカル日数としては, 普通(又は高炉)コン使用の場合は3日とする。
 5. なお, 最小限確保する養生日数としては, 供用日で5日以上とする。
 6. ケーソン面積2400㎡以上は, コンクリート打設準備として1日を考慮し, 1日(打設準備)+1日(打設)=2日を標準とする。
 7. ケーソン面積4200㎡以上は, 1リフト当りのコンクリート量が多くなるため2分割打設を考慮し, 1日(打設準備)+1日(1回目打設)+「1日(段取替え)+1日(2回目打設)」=4日を標準とする。
 ケーソン面積4200㎡未満でも, 現場条件により1日の打設量に制約があり, 各リフトを分割打設する必要がある場合は, 分割数に応じて「段取替え(1日)+打設日数(1日)=2日」を追加する
 (考: 4分割打設の場合=2日×(4-1)=6日を標準日数に追加する)。
 8. 第1リフト(刃口・作業室スラブ)の構築日数は, 掘付地盤拵・刃口金物・セントル等の日数を考慮し, 「第1リフト総構築日数」=「第1リフトの追加日数」+「標準構築日数」とする。
 9. 第1リフト追加日数=標準構築日数(割増なし 表 5.3)の「足場組立+鉄筋組立+型枠組立+型枠・足場解体日数」の合計
 10. 刃口内側斜板鋼板・作業室スラブ鋼板を施工する場合は, 設置日数を別途考慮する。
 11. 躯体構造物のコンクリートm³当りの鉄筋量が非常に多い場合は, 鉄筋組立日数の追加を別途考慮する。
 12. 稼働率は, α=1.50を標準とする(暦日数(供用日数)=実日数×α)。
 13. 標準的な施工ヤードが確保できない場合は, 構築日数の追加を別途考慮する。